共通揭示板

お知らせ・授業情報

全学共通科目

学 部 • 学

学

学

医学部(医)

医学部(人間)

学

学

学

総合人間学部

学

教育学

経済学

文

法

Œ.

大

部

部

部

部

部

部

部

院

部局ホーム シラバス

時間割(前期)

時間割 登録情報

『ログアウト 共通掲示板

English | 日本語 | プライバシー・ポリシー | 利用ガイドライン

※30分以上操作しない場合は自動的にログアウトします。

経済学部

* シラバス

戻る 印刷

授業の進捗状況や受講生の習熟度などによって「授業計画と内容」、「成績評価の方 法・基準」が変更になる場合があります。

(科目ナンバリング) U-ECON00 30401 LJ43 (所属部局) (氏名) (職名) (科目名) 中銀破綻論 福井 開 (英訳) Theory of bankrupt of Central Bank 備蓄局 中銀破綻PT 講師 (単位数) 144単位 (開講年 2022·後期 (配当学年) 無学籍者も受講可能 度・開 講期) (曜時限) 木曜、21:00~22:00 (教室) 京都大学熊野寮食堂 (授業形態) 講義

(使用言語) 日本語

(授業の概要・目的)

この授業では、2013年以降「異次元の金融緩和」と称して毎年多額の日本国債の購入を続ける日本銀行の、 財務の健全性及びインフレ局面下における金融政策の自由度について検討を行う。そのために、各国中央銀行 との比較及び中央銀行の起源、歴史的な金融政策の変遷についても取り扱う。講義の理解を深めるために、金 利・信用創造といった現代的な中央銀行システムを支える基礎的な概念、現代の中央銀行の金融政策実施上の 手段となっている金利操作及び国債に関する基本的な事項についても確認する。最終的には、より発展的な内 容として、中央銀行が金融政策の自由度を失った帰結として起こり得るシナリオについて、場合分けによる考 察と、その妥当性について検討する。

(到達目標)

経済・金融の基礎的な概念及び中央銀行の金融政策運営に関する専門的知識を用いて、日本銀行をはじめとす る現代の中央銀行が抱える諸問題を理解し、説明することができる能力を習得する。また、身に付けた知識を 元に今後の展開について自ら考えることができる能力を獲得する。

(授業計画と内容)

- 1. 概論
- 2. 情勢
- 3. 金融政策運営上の手段である金利、国債
- 4. インフレと中央銀行
- 5. ケーススタディ(中央銀行の債務超過)
- 6. ケーススタディ(ハイパーインフレ)
- 7. 日本銀行と金融政策
- 8. コロナ禍後における各国中銀と日本銀行の金融政策
- 9. ハイパーインフレと預金封鎖、債務調整
- 10. 総括とフィードバック

参加者の理解度や情勢に応じて、授業計画は適宜変更する場合がある。

(履修要件)

特になし

(成績評価の方法・観点)

成績評価は、出席を前提とする。

毎回、授業後にフィードバックを行い、全ての事項について理解度を確認する。

(教科書)

特定の書籍を教科書として指定することはしないが、授業時に資料を配布する場合がある。

(参考書等)

授業中に紹介する

(関連URL) 特になし

(授業外学修(予習・復習)等)

特にケーススタディの回を中心に、事前に調べた上で授業に臨むことを要請する場合がある。

(その他(オフィスアワー等))

LINEして頂ければ、可能な範囲で対応します。